

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	17	課題区分	B	令和7年(2025年)5月16日	
横断的な課題								南信州地域振興局
地域重点政策								
実施機関		南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名		みすずハイウェイバス利用促進にかかる広報事業				電話	0265-53-0401	
						E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	長野県地域公共交通計画において県が関与するとしている「みすずハイウェイバス」の利用者数を増加させ、地域住民の圏域を越える移動手段の確保と地域経済の活性化を図る。						
	現状と課題	【現状】 みすずハイウェイバスは県内を南北に繋ぐ交通手段として欠かせない存在として、南信地域と長野市、松本市を結ぶ重要な高速バス路線であるが、新型コロナウイルスの流行により減便し利用者数が減少した後、中央道のリニューアル工事の影響もあって利用者が回復していない。 【課題】 ○ 新型コロナウイルスの流行による減便や中央道のリニューアル工事の影響により、長野、松本への交通手段として「高速バス」が敬遠されている現状のイメージ改善が必要。 ○ 県交通政策局が来年度予算案で4月1日からの増便(1日4便⇒7便)を予定しており、来年度当初からの増便による利便性の向上と時刻表の改正について、予算成立直後から集中的に広報する必要がある。						
	内容 (変更後の内容)	○バス車体広告(高速バスの起点である飯田駅につながるバス路線等) ステッカーを地域振興局が作成し、バス事業者等へ車体への掲載協力を依頼(飯田駅や高速バス停に接続するバス車両数として35台程度) 利用者、歩行者、ドライバーのいずれにも認知されやすい車体後方への掲載を想定。 ○新聞広告(地域新聞) 県R7予算成立に合わせて、増便及び時刻表の改正についての広告を掲載 ○市町村広報誌、ケーブルテレビによるPR(全市町村) ・広報素材を市町村に提供し、広報紙への掲載等を依頼(掲載は4月以降) ・ケーブルテレビのCM放映 ○チラシの作成及び配布 ・市町村、地元企業、交通事業者を通じたPRと合庁内での配布及び各種会議等の機会での配布						
	事業期間	令和7年2月 ~ 令和7年3月						
	(単位:円)							
事業費等	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画額		備考	
	バス車体広告		飯田駅に乗入れるバス路線を中心に車体広告用のステッカーを作成		96,250		広告用ステッカー (200×800 25部)	
	新聞広告掲載		増便及び時刻表改正についての新聞広告を掲載		83,600		週間いいだ 1回 白黒4段1/2 デザイン込	
	ケーブルテレビCM放映		増便及びダイヤ改正についての動画CMの放映		165,000		飯田ケーブルテレビ 指定番組スポット(15秒) 156本(12日間) 制作込	
	広報チラシの作成・配布		増便及び時刻表改正についてのチラシの作成と配布		68,200		A4表カラー裏白黒 4,000部 デザイン込	
	合 計				413,050			

指標及び達成状況	成 果 指 標		目標値	成果	達 成 状 況
	結節点であり地域の拠点である飯田駅に接続するバス系統の車輛(23台)への車体広告掲載率		100%	100%	達成
事業実績・成果	・バス事業者、関係市町村に広告掲示の依頼を行ない、作成したステッカーを配布。費用対効果を再考し、直接飯田駅につながる路線にしぼって23台分を作成。すべての該当路線のバス車体に掲示された。 ・新聞広告は週刊いいだへ期間中最も効果的な祝日にあたる発行日(3/20)に掲載。 ・ケーブルテレビCMは3/17～3/30の期間で放映。(地域の視聴者が定期的に視聴する地域ニュース枠を中心とした放映) ・広報チラシは管内14市町村、広域連合、バス事業者、商工会議所に配布し、PR周知の協力を依頼 ・南信州のみではなく上伊那からの利用者也増加させる必要から、上伊那地域振興局と連携してチラシを配布				
今後の方向性	利用者の増加を目指し、「4月からの増便」、「より便利になったこと」、「快適であること」について広く浸透するよう、引き続き地域の関係者を巻き込みながら取り組む。 ・市町村に広報紙への掲載協力の依頼、職員等への利用促進 ・新たなPRの協力先を開拓(タクシー協会等) ・地域振興局公用車への広報用ステッカー掲示 ・会議やイベントの機会を通じたバス利用促進の周知				